

製品名: アセチルヒストン H2B (Lys15) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00853**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 14 kDa; Observed MW: 14 kDa

抗原情報

遺伝子名	H2BC3
別名	H2BK15ac; H2B 1A; H2B; H2B histone family; H2B2f; H2Ba; H2Bf; HIST2H2BF; histone H2B; histone H2B type 1; Histone H2B type 2-F
遺伝子 ID	3018
SwissProt ID	P33778
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成アセチル化ペプチド

背景

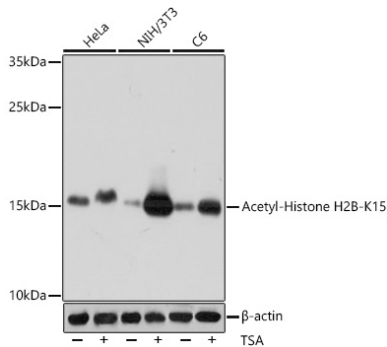
ヒストン H2B ファミリーに属し、転写制御、DNA 修復、DNA 複製、染色体安定性において中心的な役割を果たします。DNA アクセ

シビリティは、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されま
す。

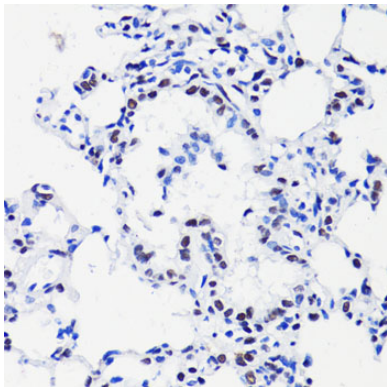
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

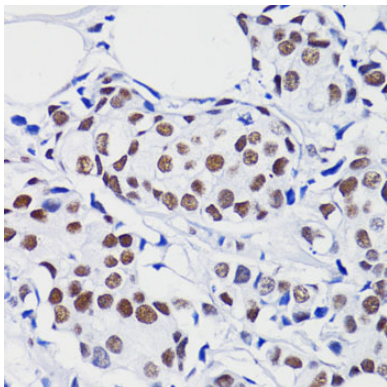
画像データ



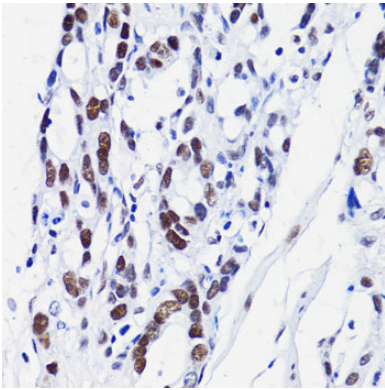
アセチルヒストン H2BK15 抗体を使用した、さまざまな細胞株溶解物中のアセチルヒス
トン H2B (Lys15) のウエスタンブロット分析。



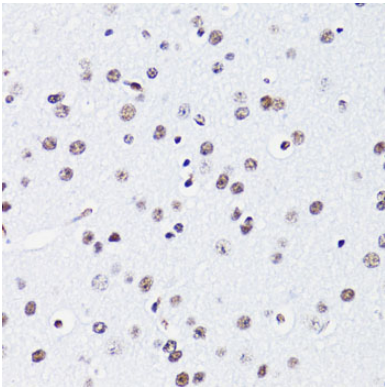
アセチルヒストン H2B (Lys15) 抗体を使用したパラフィン包埋ラット肺の免疫組織化学
分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



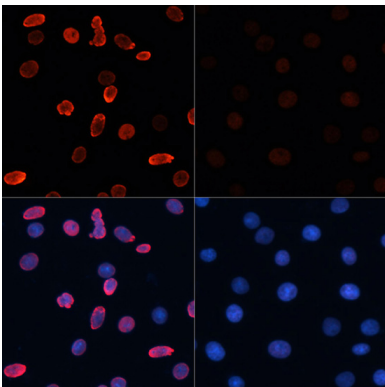
H2B K15ac 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗原賦活化に
は、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



H2B K15ac 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



H2B K15ac 抗体を使用したパラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



アセチルヒストン H2BK15 抗体を使用した C6 のアセチルヒストン H2B (Lys15) の免疫蛍光分析。C6 細胞は TSA および DAPI (青) で処理されました。